

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	施設整備室
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-862-3422
	取組方針	生鮮食料品等の流通強化		事業期間	令和 6年度～令和 6年度
	事務事業	卸売市場整備事業（青果棟）			

【事業全体概要】

事業概要	本市場の青果棟（昭和52年竣工）は、建築後40年以上経過しており、旧耐震基準の建築物である。平成23・24年度に実施した耐震診断の結果、青果棟は緊急に改修等の措置を講ずる必要がある「A判定」であったことから、この結果を踏まえ、コールドチェーン化や物流の効率化等にも対応した市場施設を整備する。				
年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト	6-	関連根拠法令	卸売市場法、高松市中央卸売市場業務条例等

【事業の目的】

対象（何を）	青果棟
意図（どのような状態にしたいか）	安全・安心な生鮮食料品等の安定供給を行う物流拠点施設としての卸売市場の機能向上や消費者（市民）から親しまれ、継続的な支持を得られる施設整備を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
関係者との協議回数	回	0	0	10	0	0

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
卸売市場の取扱金額	億円	目標値 実績値	0 0	0 0	318 305	0	0
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
流通ルートの多様化に伴う市場経由率の低下により、取扱数量は前年度を下回ったが、天候不順や燃料費の高騰等の原因により野菜価格が高騰したため、取扱金額は横ばいとなった。	(目標達成度) 95.9%						
		(得点) 34点					
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
卸売市場整備進捗率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	100 100	0	0
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
新青果棟について、令和6年9月末に竣工し、目標を達成した。	(目標達成度) 100.0%						
		(得点) 35点					

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	68,728	2,182,731	5,953,006	0
(事業費)	[千円]	38,792	2,152,623	5,953,006	0
(職員人件費)	[千円]	29,936	30,108	0	0

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			特定財源	一般財源	
令和 6 年度	【市場整備】 施設整備工事(5年度からの繰越含む) 施設整備工事監理業務委託(令和5年度からの繰越含む) 青果棟案内標識設置工事 その他工事	5,857,236千円 89,219千円 4,499千円 2,052千円	総額	5,953,006	
			特定財源	国	1,489,056
				県	0
				市債	4,423,700
				他	40,250
			一般財源	0	
令和 7 年度			総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	87 / 100 (87%)	今後の方向性	完了
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

昨年度から引き続き建設工事を進め、令和6年9月末に竣工した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

卸売市場整備事業(青果棟)としては完了とする。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	施設整備室
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-862-3422
	取組方針	生鮮食料品等の流通強化		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	卸売市場整備事業（水産物棟等）			

【事業全体概要】

事業概要	本本市場の水産物棟（昭和55年竣工）は、建築後40年以上経過しており、旧耐震基準の建築物である。平成23・24年度に実施した耐震診断の結果、水産物棟は可及的速やかに改修等の措置を講ずる必要がある「B判定」であったことから、この結果を踏まえ、コールドチェーン化や物流の効率化等にも対応した市場施設を整備する。				
年度概要	【市場整備】 下水道切替工事 事業者選定支援業務 青果棟移転に係る補助金返還 その他経費				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	6-	関連根拠法令	卸売市場法、高松市中央卸売市場業務条例等

【事業の目的】

対象（何を）	水産物棟等
意図（どのような状態にしたいか）	安全・安心な生鮮食料品等の安定供給を行う物流拠点施設としての卸売市場の機能向上や消費者（市民）から親しまれ、継続的な支持を得られる施設整備を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
関係者との協議回数	回	0	0	12	12	12

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		成果指標設定なし	件	目標値 実績値	0 0	0 0	0 0	0 0
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	施設の整備方針、スケジュール等が未定のため、成果指標を設定できない。方針等が定まり、政策決定を受けた後、成果指標を設定する予定。							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							

【コストの推移】

	単位	R 4( 決算 )	R 5( 決算 )	R 6( 決算 )	R 7( 予算 )
トータルコスト	[千円]	0	0	73,810	267,370
(事業費)	[千円]	0	0	73,810	267,370
(職員人件費)	[千円]	0	0	0	0

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 ( 予算の増減理由 )	事業費		
令和 6 年度	【市場整備】 下水道切替工事 要求水準書作成等支援業務 要求水準書作成等支援業務に係る関連事業 分筆登記等業務委託 その他経費	49,280千円 17,675千円 3,000千円 3,511千円 344千円	総額	73,810	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	49,200
				他	24,610
一般財源	0				
令和 7 年度	【市場整備】 下水道切替工事 事業者選定支援業務 青果棟移転に係る補助金返還 その他経費	223,170千円 33,451千円 10,000千円 749千円	総額	267,370	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	223,100
				他	44,270
一般財源	0				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	18 / 30 (60%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 ( 評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入 )

下水道切替工事に着手、水産物棟等整備事業要求水準書作成等アドバイザー業務委託を完了した。安全・安心な生鮮食料品等の安定供給を担う物流拠点として、時代に沿った衛生管理や物流の効率化、大規模災害時の業務継続など、卸売市場の機能向上が求められているため、引き続き本事業の推進が必要である。

【今後の事業方針】 ( 評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入 )

令和9年度に事業者公募を行い、令和10年度中の事業者選定を目指す。  
また、より効果的な施設整備の方針を検討するとともに、引き続き、国や県、関係機関等と連携しながら事業を継続する。